

（1）西脇先生のご講演についての感想や学んだこと、これから生かしていきたいと思ったこと**<① 新型コロナウイルス感染症への対応について>**

- 新型コロナウイルスの蔓延拡大が深刻化し、学校内でも陽性者が出るなど、校内でも緊張感が高まる事態が続いています。少しでも感染拡大を抑えられるよう日々の感染対策に努めています。しかし、毎日「これで大丈夫なのか」と不安を抱えています。しかし、西脇先生のご講話を聴講し不安が解消されました。今行っている感染対策を継続し、頑張っていきたいと思います。また、3月から5～11歳でのワクチン接種が始まります。大人の私たちでもワクチン接種の当初不安がありました。おそらく児童の接種は保護者の意思決定で行われます。児童も不安を抱えることとなると思います。そうした中で、養護教諭は心のケアも必要になってきます。多くの情報が児童を取り巻いています。児童に正しい情報を伝えることが大切になってくるので、今回のご講話で学んだこと、根拠あるデータを基に、正しい情報を伝えていき、少しでも安心感を与えていきたいと思います。
- 新型コロナウイルスについての様々な情報が流れる中で、私自身がどの情報を信じて指導や助言をして良いか分からず、不安や困り感がありました。西脇先生のご講演で、現在のコロナウイルスの感染状況やその情報源を教えてください、とても勉強になりました。
- 日々新しい情報が入ってくる現在において、学校として行っている手洗いやマスクの着用など行っていくことが大切だと改めて教えていただき、今行っている予防対策を徹底して継続していきたいと思いました。また、たくさんの情報があり、何が正しいか不安に思う部分もあったため、今回の講話で不安が取り除かれました。ありがとうございました。
- 本校では、この数週間、感染者や濃厚接触者が続々出て、対応する中で、初めて知ることが多いことに気付かされています。そんな状況で、今日のお話を聞き、とても参考になり、気の持ち方が楽になりました。
- 日ごろ、疑問に思い調べてはいるものの不確かだったことが、回答いただき、不安が少なくなりました。質問に、的確にお答えいただきとても有難かったです。
- 今まで行ってきた感染対策を継続することが大切であるとの、安心しました。だからこそ、出来ていない部分は、今後も徹底する必要があると感じました。
- 事業所別クラスターのデータでは、大学の発生が一番多いことに驚きました。授業では、ほとんど感染リスクがないとのお話だったので、部活動やサークル活動など感染対策を疎かにしやすい活動でクラスターが発生すると考えると、学校で行っている日常の感染対策は本当に必要なことだと感じました。
- 私自身もオミクロン株の感染力の強さに、学校での感染予防対策が正しいのかどうか不安になっていました。しかし、西脇先生のお話を聞いて、まずはこれまで学校で続けている基本的な対策をさらに徹底して行っていこうと改めて思いました。
- 現在、新型コロナウイルスの感染が身近で急速に広まってきており、本校でも、学級閉鎖や、家族等の感染、出席停止がどんどん増えている状態である。学校での感染を抑えるために、不安な状況の中で今回の講演があり、今一度、感染対策について考えることができました。今、学校で行っている感染対策を継続していくことが大切であること、ただ、今以上に、子ども同士の、密になる場を避けることや、教室の換気、マスクの正しい着用について、徹底していかなければいけないと改めて感じました。
- 子どもの予防接種については、今後、どのくらい広まっていくかわかりませんが、副反応のリスクや、心筋炎の心配等もあり、接種後欠席すると思いますが、その後も、1週間ほどは、注意深く健康観察をしていく必要があるということもわかりました。
- コロナ感染で、精神的にもつらい状態ですが、やはり、様々な情報等がある中で、冷静な態度で、寛容さを持ち続け、正しい判断をしていくことが大切だと改めて思いました。
- 貴重なご講演ありがとうございました。このような交流は養護教諭としての経験がまだ浅い私にとって、とても勉強になりましたし、オンラインという形でしたが、講師の方や他の学校の養護教諭の先生と顔を合わせて交流することができ、不安な日々を過ごしていましたが、とても安心することができました。現在、10歳未満や10代の新型コロナウイルス感染症の感染者が増えており、それは小学校で勤めていてもとても実感します。オミクロン株だからといって、今までの感染症対策が変わることはないの、日頃行っている健康観察や感染症予防を徹底していきたいです。西脇先生のお話でありましたように、ワクチン接種後の心筋炎は2回目の接種に多いとのことでしたので、接種した子どもは、接種後1週間は様子を見るように気を付けていきたいです。子ども達が健康で、安心・安全に学校で過ごすことができるように、感染症対策を行っても、感染リスクをゼロにすることは難しいですが、学校における保健管理体制をしっかり築いていきたいです。
- 新型コロナウイルス感染症の感染者の詳細や、医療機関で得られる情報は、とても私たち養護教諭

の助けになります。また、日々の私たちの対策対応の後押しとなり、心強く感じ安心を得ることができました。

- これまでやってきたことに加え、楽器の消毒についてや、小児のワクチン接種についてなど、まだ考えが及んでいなかったことを今回お聞きできたことがとても勉強になりました。
- オミクロン株の流行により近隣地域でも感染者数が増えていく中で、感染対策に不安も多かったのですが、「オミクロンだからと対策を変える必要はなく、基本的対策を引き続き行えばよい」とのお言葉で安心することができました。
- 一番印象に残ったのは、デンマークの若年層の死者数でした。日本でお人口比でみると・・・と言われた数字が私にとってはものすごく衝撃でした。国の状態も人種的なものも生活習慣も違う国の事ですが、そういったウイルスなのだということをしっかり理解して対応していかなければならないと思いました。
- 現在の感染状況やワクチン接種の効果について、最新のデータや海外のデータを用いた大変わかりやすい説明をしてくださり、今日の講演で知識が身に付きました。
- デンマークでは、コロナの規制を撤廃したが、その後コロナ感染者数が急増しているという話から、基本的な感染症対策を続けていく重要さを改めて感じました。
- この度の西脇先生のご講演では、新型コロナウイルスに関わる最新のデータから、具体的なお話を聞くことができ、貴重な機会となりました。
- 管楽器についても、木管、金管とウイルス付着の日数が違うなど、吹奏楽、管弦楽の部活動がある中学校にはありがたい話でした。
- 感染症と人権問題はいつもセットと言われるように、子どもたちに指導をする際には、人権的な視点でも話をしてきていた。今後も、保護者も含めて、正しく知って偏見や差別のない学校を目指したいです。
- 感染拡大に伴い、とても心配な状況が続いているため、オンラインであってもこのようにご指導いただくことができ、ありがたかったです。
- 講演を通して、急激に感染者数が増えている状況であっても、特別対応を変えるのではなく、今実施している手洗いや換気などの基本的な感染症対策を継続していくことが大切だと学びました。校内の感染症対策を強化・徹底していくとともに、有事に迅速に対応ができるように平時から校内・校外との連携を密にとっていきたいと思います。また、海外では、ワクチン接種後の心筋炎発症事例が10代後半に多いという結果が出ており、特に2回目のワクチン接種後1週間くらいは、注意して子どもの様子を見る必要があるということも学びました。本校では、接種翌日や翌々日は副反応により欠席される家庭が多いですが、接種した生徒については、登校日から数日はより確実に健康観察を行い、症状がみられた時に的確に対応できるように努めていきたいと思います。
- 日々、コロナに関わって議論した、行動をしています。ご講演を聞き、そんな毎日を後押ししていただいたように感じました。基本的な感染症対策の強化、徹底をすること。それは、コロナの波が次々押し寄せる中、その度に新たに策を講じるのではなく、基本に忠実に今までやってきたことを確実に行うことの大切さを改めて感じました。